

くらぼよ

目次

- 男の自立講座……………2～3
～料理初級編～
- ちょっとのぞいてみよう！…4～5
さっそく行ってみよう！
交流ルーム!!
- 女性のための相談室……………6
- 「平等にね…」……………7
- インフォメーション・講座案内…8



(絵 三木市緑が丘町 小塩雅子)

第5号

2006.春

女性センターは、女性だけのものと思いませんか？男女共同参画社会の実現には男性の参画も欠かせません。昨年好評だった「男性応援講座(意識編)」に続き、今年は「男の自立講座(実践編)」が開催されました。その第1回目取材してきました。また、参加者の皆さんに協力いただいてアンケートを実施し、参加の動機などをお聞きしました。

男の自立講座



～料理初級編～

月 日 1/21(土)、28(土)、2/4(土)
時 間 11:00～13:30
講 師 岡 臣子



まず、募集12名を上回る17名の参加にびっくり。キャンセル待ちがでるほどの大人気の講座となりました。

岡先生が「料理作りは家族みんなが喜ぶ。失敗はあっても慣れる事が大切。今日は楽しく作って交流を深めてください。」とあいさつ。みなさんエプロン姿が板につき、バンダナをしている人もいてなかなか決まってらっしゃる。熱心に先生の説明を聞いていました。

先生は、お米の洗い方や器具の名称など基本的なことから説明。参加者からは「どうしてこうするのですか？」と積極的な質問が飛び交い、笑い声もあちこちから聞こえました。ほとんど包丁を

使ったことのない人も全員が包丁を使い、卵を割り、自分の分を炒める。

また家から包丁を持ってこられた人や、包丁さばきだけでなく自主的に洗い物を片付け、食器を出し、ガス台まで掃除する手馴れた人も。アットホームな雰囲気の中、身近な素材・基本的な料理法でなじみの料理を作る。厚すぎるなますのにんじんも、不揃いな具のチャーハンもちゃーんとおいしく、見た目よく出来上がりました。私も上げ膳据え膳でおいしくいただきました。ごちそうさまでした。ぜひ、今日の夕食に家族の皆さんにふるまってあげてください。

参加者のなかには、単身赴任中は作っていたがパートナーと一緒にだと、台所を汚すとか、材料が無駄になる、食器を片づける場所が違うなど言われて嫌になったという人も。作り手にとって「ありがとう」や「おいしかった」のひとは、なによりうれしいものですね。私は今回の講座取材して料理の楽しさを再発見しました。今度は参加者から要望のあった「夫婦一緒に料理教室」企画も面白いかもしれませんね。

(取材 H.O K.M)



参加者のアンケート

◆年代構成（17名）

30代	2名
50代	4名
60代	10名
70代	1名

◆動機

自分からすすんで	10名
家族に勧められて	7名

◆自分からすすんでの理由としては

妻が寝込んだとき困る	3名
妻のために作ってあげたい	3名
時間的に余裕がある	2名
料理に興味があった	2名

家族などに勧められてと回答の方も、退職して時間的に余裕があった、家事ができるようになりたいと思っていたなど、参加には前向きな考えが多かったようです。



◆以前に料理を作ったことがありますか？

はい	13名
いいえ	4名

◆講座で習った料理を作りましたか？

はい	13名
いいえ	4名

今まで料理を作ったことがなかったと回答された4名のうち2名の方が家で作ってみたいと答えられ家族の方にも好評でした。料理を作ったことがあると答えられた13名全員が今後も料理をすると回答されていました。

家で作らなかった4名の方も時間的に余裕がなかった等で、料理を作る気持ちがありますか？の問いにはすべての方があると回答されています。

◆料理以外にしている家事（複数回答あり）

掃除	10名
洗濯	5名
風呂洗い	5名
ゴミ出し	5名
食器洗い	2名
廃品回収の整理	1名
こどもを風呂に入れる	2名

洗濯は干すだけ、取り込むだけでも数に入っています。担当として毎日している家事は少なく、「たまに」「時々」と頭についている回答が目につきました。今回の献立は

- 1回目 チャーハン・酢の物・スープ
- 2回目 肉じゃが・味噌汁・おひたし
- 3回目 煮込みハンバーグ・スープ・サラダ

で、炒める、煮る、焼くの基本的で身近な内容でした。3回連続で参加された方がほとんどで、初めて料理をされた方も、大変楽しく有意義に過ごされたようでした。継続の要望が多かったようです。

「家事は主婦がするものとは限らず家のことはできる人が何でもするようにした方が良い」（60代）と最後の感想に書かれている方があり、男性の意識も変化していることに感激しました。

家族のコメントの中には「休日の料理当番は主人で、私より味の方は確かだと思いましたが、基本も知っていればと思い勧めました。肉じゃがを作ってくれましたが、私が作るよりじゃがいもがほっくりしておいしかったです。」（30代）と普段からされている方がある反面「習ったとおりの手順で作られていない。自己流になっている。味は変わり映えがしない。」（60代）と辛口のコメントもありました。

家族が助け合って生活することは基本です。

男性が料理に興味を持つと他の家事にも積極的になるという新聞の意識調査もありました。

最初は不慣れで失敗もあるでしょうし、後片づけもきちんとできないかもしれませんが、ゆっくりと見守ることが、男性の生活的自立につながることでしょね。



ちょっとのぞいてみよう！ さっそく行ってみよう！

「もっと悪女な奥さん」

内田春菊 著
メディアファクトリー
2003年発行

人によってそれぞれちがう結婚生活が働いている3人の奥さんの目を通して語られるマンガ&エッセイ。仕事・妊娠・出産・そして夫。等身大の3人に親しみが持てます。



「みんなのためのルールブック あたりまえだけど、とても大切なこと」

ロン・クラーク 著
亀井よし子 訳・北砂ヒツジ 絵
草思社 2004年発行

「相手の目を見て話そう」、「だれであれ、仲間はずれにしない」等子どもたちが楽しい学校生活や大人になって充実した人生を送れるように守るべきルールが50書かれています。短文でふりがながあってあり、子どもだけでなく大人が読んででも納得できる内容です。

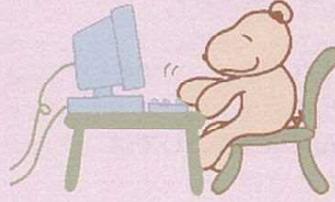


インターネットが
使えます。

パソコン

プリンター

書



ピンクのカーペットが
全面に敷かれているので
ハイハイの子どもも安心。

書
架



このテーブルで情報誌の
編集会議をしたり、小さ
い講座を行なっています。

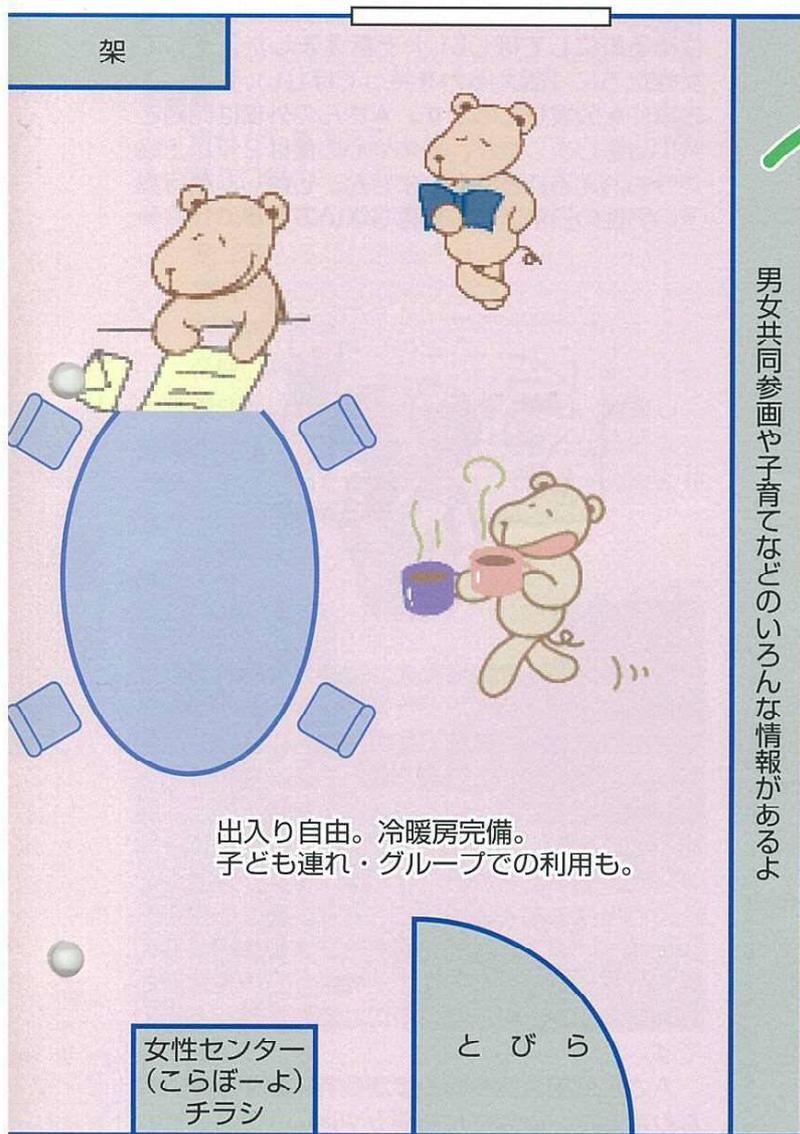


子どもが遊べる
おもちゃ、車、積み木
があるよ！
子どもジェンダーかるた
で遊ぼう！

ホワイトボード



交流ルーム!!



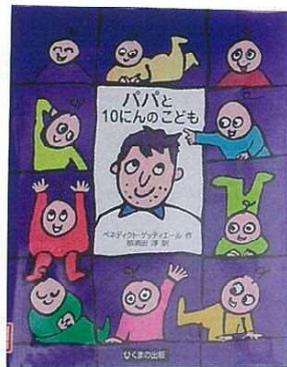
男女共同参画や子育てなどのいろんな情報があるよ



「パパと10にんのこども」

ベネディクト・ゲッティエール 著
那須田 淳 訳
ひくまの出版 2001年発行

10人の子どもを仕事しながらひとりでがんばって育てているパパ。家事や育児に疲れたパパはある日、子どもをおばあちゃんに預け、ひとりで舟に乗り旅に出ます。パパや子ども達はこれからどうなるのか？シングルでがんばっているパパやママがほんわかする絵本。



「女のシゴト道」

大田垣 晴子 著
文藝春秋
2004年発行

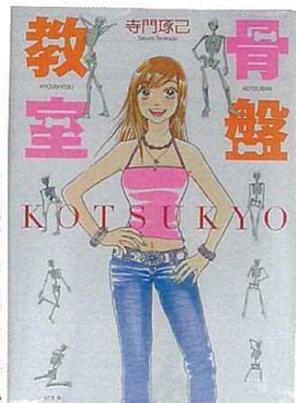
「動物園の飼育係」「フラダンス講師」「銭湯経営」など、働く女性の人生観、仕事観が興味深く描かれた画文集。100の人生があれば100の仕事があると納得できます。



「骨盤教室」

寺門塚己 著
幻冬舎 2005年発行

骨盤を自在にあやつって、人生も思うとおりに変えるための全体の指南書。生理不順や冷え性・肩こりなどの効果だけでなく、美肌やダイエットなどにも効果あり！かわいいイラスト・ためになるコラム満載。読んで楽しく健康になりませんか。



女性のための相談室

性的被害と女性の人権

～誰でも いつでも どこでも～

昨年は幼女たちの悲惨な事件が世情を騒がせました。しかし、その数倍？いえ十数倍に及ぶかも知れないあらゆる年代の女性の性被害は、事件として表には出にくいのです。まして、それがレイプ未遂なら、なおさらむずかしいのが実情です。

今から約2年前のことですが、Aさん(55歳)は、よろめく体を姉に支えられ相談室にきました。「同じ町内に住むBからレイプされそうになり、必死で逃げました。首を絞められて引きずられ、あちこちに傷ができました。その診断書はもらいましたが、ズボンに手をかけていないから、レイプの立証は無理だと警察に言われました。でも私はレイプされる！という恐怖でいっぱいでした。」泣きながら話し終えたAさんは「レイプ未遂事件」として訴えたいとのことでした。

相談室に足を運ぶAさんは苦しそうでしたが、状況をていねいにまとめた文書を作り、警察に訴え続け、事件から1年にして裁判の運びとなり、判決がでました。しかし、「全治10日間の傷を負わせたことによる、懲役10ヵ月、執行猶予3年」という傷害罪によるもので、レイプ未遂事件としては扱われませんでした。

Aさんは陳述の中で、「このような事件はテレビのニュースの中のこととして他人事のように思っていたのに…事件の経過を多くの女性に知ってほしい。そして、ひとり暮らしの女性が安心して住める町にしてほしい。」と訴えました。そして、女性たちに「訴える力を持ってほしい。」と、この事件を公表したのです。Aさんの外傷は時間と共に治癒しましたが、恐怖や心の傷は2年以上経た今も消えることはありません。しかし、執行猶予の男性の日常は何の変化もないのです。



性被害は、「見知らぬ人」に突然襲われるだけではありません。また、女性にスキがあったからでもありません。見知った人、場合によっては親しい人、友人や恋人であることも。被害者は加害者が親しい人であればあるほど、訴えることが難しいのです。

また、もっとも恐ろしいのは、家族が性暴力をふるう場合もあるということです。多くの少年、少女たちは傷ついた心を抱えたまま思春期を迎え、大人へ育っていくのです。その中から男性は新たな加害者に、女性は被害者になる可能性があるのです。

Aさんは相談室への一歩が裁判に踏み出す力になりました。みなさんも悩みや迷いがあるとき、はじめの一歩を相談室へとすすめてください。
(相談員より)

※なお、今回の事例については、Aさんに了解のうえ掲載しています。相談内容は決して無断で掲載することはありませんので、どうぞ安心してご相談ください。

三木市女性センター「女性のための相談室」相談件数

年 度	性・性被害に関する相談(件)	全相談件数(件)
平成14(9～3月)	4	115
平成15	4	309
平成16	9	314
平成17(2月末)	6	289

三木市女性センター「女性のための相談室」

*電話相談

木曜日 13:00～16:00 土曜日 10:00～12:00
電話相談専用 0794-89-2354

*面接相談(要予約)

木曜日 13:00～16:00 土曜日 10:00～12:00
面接予約電話(9時～17時受付)
月・水～金 0794-89-2331
火 0794-82-2000

性被害の相談先

*レディースサポートライン

兵庫県警 078(351)0110
月～金(祝日を除く)9:00～17:00

*ストーカー相談(24時間)

兵庫県警 078(371)7830

「平等にね…」

佳もと かずみ



今号から男女共同参画とは？をマンガを通してわかりやすく解説していくことになりました。マンガを書いてくださるのは、市内在住の佳元和美さんです。

佳もと かずみさんプロフィール

2005年の春に二人の息子さんが社会人として自立。再び自由を取り戻した佳もとさんは過去に少し経験のあったマンガを書き始め、昨年7月 ある生活情報誌への投稿がきっかけで学生時代に何度か夢に見ていたマンガ家デビューを目指すことになりました。51歳からのスタートです。

あなたもわたしも作る人、食べる人

私の結婚当初は、共働き。出産後、両親と同居し(いわゆる)主婦業に専念した。その当時、料理は妻の役割だと思っていた。私は、もともと料理は嫌いではない。だが、「私作る人、あなた食べる人」の方程式に何とやらだったことか。二人で一緒に作って食べたらどんなにいいだろうと。やがて、再び私が勤めにできるようになり、子ども達も独立した頃、パートナーは仕事の勤務時間が減ってきた。私の仕事の帰りが遅いときなど、すすんで作ってくれるようになった。「おいしいね！」との周囲の後押しもあり、レパートリーが増えてきた。今では、私よりパートナーが作った方が評判のいい料理もいくつかできてきた。

さて、結婚して数年の長男とはいえば、仕事はしているが、比較的時間のある彼のパートナーが、主に家事を担当している。しかし、凝り性の息子は「掃除は、断然僕のほうが上手だ。」と言う。最近では、つわりのパートナーに代わって、会社帰りに買い物をして、料理、片づけまでこなしたと聞いた。もちろん、外食や出来合いのものも上手に利用しているけれど。何でも二人で助け合って家事をこなす様子は、ほほえましいし、少々うらやましい。

人は誰でも、帰宅した時にちゃんと食事の準備ができていて、すぐに食べることができると、本当にうれしい。また、自分が作った料理を、家族や他の人が「おいしい!!」と喜んで食べてくれるのも、うれしい。あなたもわたしも、女や男にかかわらず、自分で料理を作る人であるし、また食べる人であるのが一番自然なことだ。

S. T

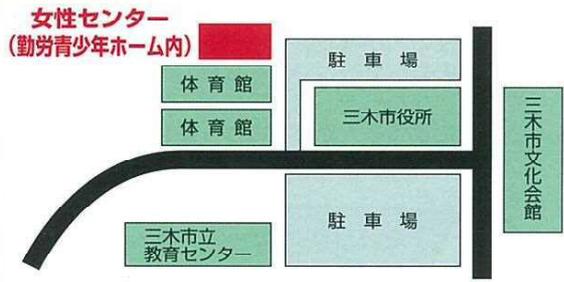


三木市女性センターの講座案内

講座名	月 日	内 容	備 考
「絵本で子育て・自分育て」 ～えほんカフェ入門編～ 講師 里の家絵本の部屋 茂木美知子 10:00～11:30	平成18年4月24日(月)	「新米ママの絵本デビュー ベテランママもご一緒に」	随時申込みできます 一時保育有り
	平成18年5月8日(月)	「私が子どもだったとき」	
	平成18年5月29日(月)	「どんなお母さんになりたい?」	
	平成18年6月12日(月)	「女の子、男の子どんな風に育てほしい?」	
	平成18年6月26日(月)	「人とうまく話せない私、 輪の中に入れてくれない子ども」	
	平成18年7月10日(月)	「ほっとひといき わたし自身のための絵本」	
「こころとからだの 健康セミナー(前期)」 講師 里の家主宰 赤松彰子 10:00～12:00	平成18年5月1日(月)	「お元気ですか?からだのリズム」 ～わたしのバイオリズムをつくる～	随時申込みできます 一時保育有り
	平成18年6月5日(月)	「知っていますか?わたしのからだ」 ～月経・妊娠・出産～	
	平成18年7月3日(月)	「思春期のトラブルその(1)」 ～幼児期からの性教育～	
	平成18年8月7日(月)	「思春期のトラブルその(2)」 ～妊娠・性感染症・摂食障害～	
「40歳からの 出発から 老いじたくまで」 講師 高橋ますみ	平成18年5月14日(日) 講演会 志染町公民館 13:00～14:30	～今からでも遅くない私らしい生き方～	一時保育有り 里の家との共催
	交流会 里の家 15:00～16:30		
4周年記念事業	平成18年9月上旬(未定)	未定	一時保育有り
DVに悩んでいる女性のための 語り合い	毎月第3木曜日 13:00～15:00	同じような経験を語り合い、気持ちを分かち 合い、情報交換しましょう	申込み等は不要です
女性にまつわる いろいろなテーマで 語り合う会(CR)	平成18年4月1日(土)10:00～12:00 平成18年5月13日(土)10:00～12:00 平成18年6月3日(土)10:00～12:00 平成18年7月1日(土)10:00～12:00 平成18年8月5日(土)10:00～12:00 平成18年9月2日(土)10:00～12:00	ファシリテーター(進行役)は、 「さくら草の会」がします	随時申込みできます

募 集

女性センターでは、情報誌表紙のイラストを募集しています。
 住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、ご応募ください。
 【送付先】〒673-0432 三木市上の丸町8-30
 三木市女性センター「こらぼーよ」
 ※原稿の返却はしませんのでご了承ください。
 ・本誌に対するみなさんのご意見、ご感想をお聞かせください。
 ・情報誌編集委員を募集しています。一緒に情報誌をつくって
 みませんか。



三木市女性センターは4月から「三木市男女
共同参画センター」に名称変更します。

編集後記

福田 ようやく今年の寒い冬も終わり、出かけやすい時期になりました。お散歩がてらにぜひ、女性センターにも足を運んでみてください。

せと 自分の思っていることを伝える方法はいろいろある。その中でも文章を書いて人に読んでもらうことは本当に難しいけれど、実は楽しい作業であると実感した。

長尾 「春が来た。出会いもあれば別れもある。2年半、アナログな私を支えてくれた編集委員の方に感謝多謝。」

沖中 何事も自ら経験してこそ喜びや苦しみも実感できることも多いですね。娘も大学・バイト・花粉症と体験中です。

筒井 春がもうすぐそこまで来ています。毎日の生活の中や、周りの景色の中でなにか心に残るものを見付け、楽しくて興味のある情報誌作りに頑張ります。

松永 苦手だったチャーハンがバラッとおいしくできるようになりました。家族にも好評です。

ひー 男女共同参画(さんかく)社会って言葉は、21世紀のキーワード! その拠点施設の女性センターは一番ホットな場所とも言えるね☆

企画・編集 情報誌編集委員会
 発行 三木市健康福祉部人権尊重推進室 (三木市女性センター「こらぼーよ」)
 〒673-0432 三木市上の丸町8番30号
 TEL/FAX. 0794-89-2331 E-mail: jinken@city.miki.lg.jp